

架空送電線工事の従事者のワークウェアの提案

(岐阜短・環境) ○福村愛美, 太田幸一, (中部電力)尾形一也, 山田浩基

1. 緒言

社会基盤を支える電力の安定供給に不可欠な架空送電線工事の従事者（ラインマン）は、高齢化などを背景に年々減少しており、全国規模で人材不足が問題となっている。この問題に対し、地域・現場でできる取り組みとして、岐阜市立女子短期大学および中部電力パワーグリッドは、令和4年度、ラインマンの社会的認知度向上に向け、更なる安全性・機能性に加えて、デザイン性・視認性を兼ね備えた「スタイリッシュワークウェアの開発プロジェクト」に関し覚書を交わし、生活デザイン学科ファッション専修の学生10名が参加のもと、下記のとおり実施した。中部電力は、工事全般の平準化、労働環境の改善（年収増加、機械化の推進、働き方改革）や採用支援に取り組み、一部については実施に至っているが、送電工事業界は就業者の確保が建設業の中でも一段と厳しいのが現状である。その状況を少しでも改善できるようにすることが、今回のプロジェクトの目的である。

2. 制作方法

〔ラインマンワークウェアの完成までの経緯〕（令和4年度）

- ・4月21日：中部電力パワーグリッド・ラインマンの仕事の説明
- ・6月24日：架空送電線工事の現場見学，ラインマンとの意見交換
- ・7月から8月：学生10名が制作したワークウェアデザイン画の作成、デザイン選考
- ・9月29日：選考の結果、最優秀デザイン画を決定
- ・9月から12月：岐阜市内の縫製会社による試作品製作
(学生との意見ディスカッション 1回目：11/10 2回目：12/8)
- ・1月から3月：岐阜市内の縫製会社による完成品製作

3. 制作作品

〔最優秀デザイン画の選考ポイント〕

- 【安 全 性】・身体にフィットして安全な姿勢をとれる。
- 【機 能 性】・メッシュ、リブで作業性が考慮されている。
・必要な箇所を補強することが考慮されている。
- 【デザイン性】・赤ラインが特徴的でシンプルでかっこいい。
- 【視 認 性】・自然色の茶や緑と比較すると白地は目立つ。
- 【アイデア】・袖口のリブによる外的侵入防止がよい。
・リブは個人差にも対応できる点がよい。
- 【そ の 他】・作業性は良いが、上着のボタンはファスナー可。
・ポケットは全てスナップ付きがよい。
・リブが伸びきらない工夫が必要。

4. 今後の展開

今回産学連携でワークウェアの開発を行ったが、実際に着用してみても機能的で着やすく、かっこいいと思ってもらえるか、意見を聞いて改善できればと思う。そして全国的に広まることを目指したいと思う。

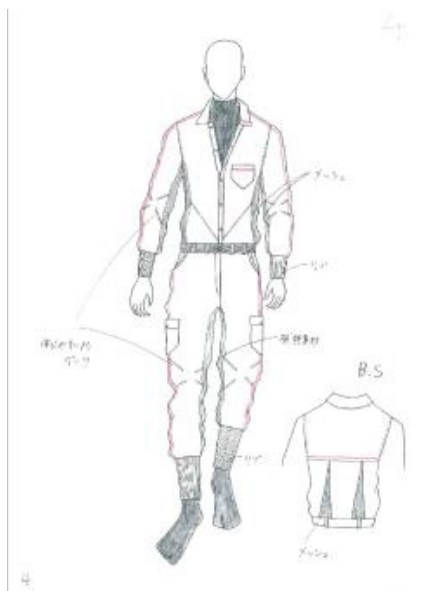


図1 最優秀デザイン画

謝辞：岐阜市立女子短期大学生生活デザイン学科ファッション専修の学生の皆様、最優秀デザイン画に選出された草野優華氏及び、中部電力パワーグリッドの社員の皆様、ラインマンの皆様に、厚く御礼を申し上げます。